



## 初任者研修 ～旭川医科大学病院の組織の一員として出発～



旭川医科大学病院では、新任者76名を迎え入れ、8日間の日程で初任者研修を行いました。今年度も感染防止の観点から、研修前には新任者全員の体調確認を行い、会場も分散して実施しました。研修では、病院長・看護部長をはじめ、各部門の部門長、副部門長、担当者から病院の理念や組織の概要に関する講義があり、社会人としてだけでなく、医療人、組織の一員としての認識を深める機会となりました。

Zoomを活用して、2つの会場に分かれて研修を行いました。会場の映像、音声、講義スライドを画面共有しながら実施しました。



講義終了後には自身の学びや考えを発表しました。疑問点について挙手をして質問をする姿もありました。



医療安全の講義では、コミュニケーション防止のための指示・伝達のルールやチェックブックについて学びました。初めての指差し呼称も丁寧かつ確実にすることが出来ました。



医大花子さん、よし！

操作研修では、病院情報システムの基本的操作に加えて、勤務管理と電子カルテの概要について確認しました。



しんじんの時間では、全員が自己紹介を行い、大切にしたい看護や個性溢れる趣味について語り、研修者間での交流が深まりました。Zoomを通して、部署の師長も自己紹介を聞き、新任者を知る機会となりました。



感染対策の基本である手指衛生やPPE着脱の正しい手順について確認しました。配置部署に応じ、一部の新任者には、N-95マスク装着研修を実施しました。



今年も新人看護職員の頑張りと成長を多くの方に知って頂きたいと思い、フレッシュナースNEWSを発行します。新人教育に関して、何かご意見やご要望がありましたらお気軽にご連絡ください。看護職キャリア支援教育担当